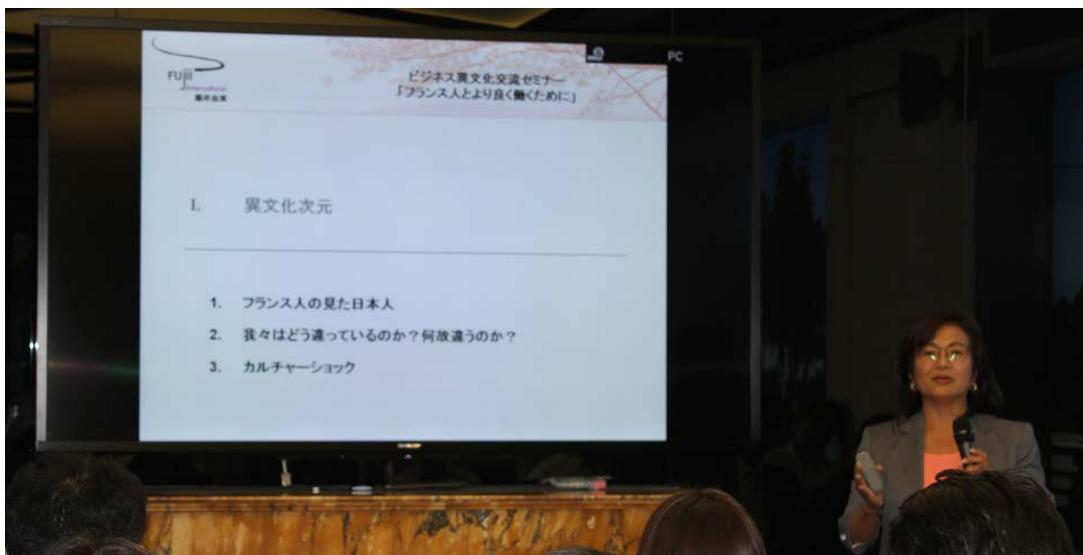


2016年10月12日
知的交流委員会

ビジネス異文化交流セミナー 「フランス人と良く働くために」（第3回目）の模様

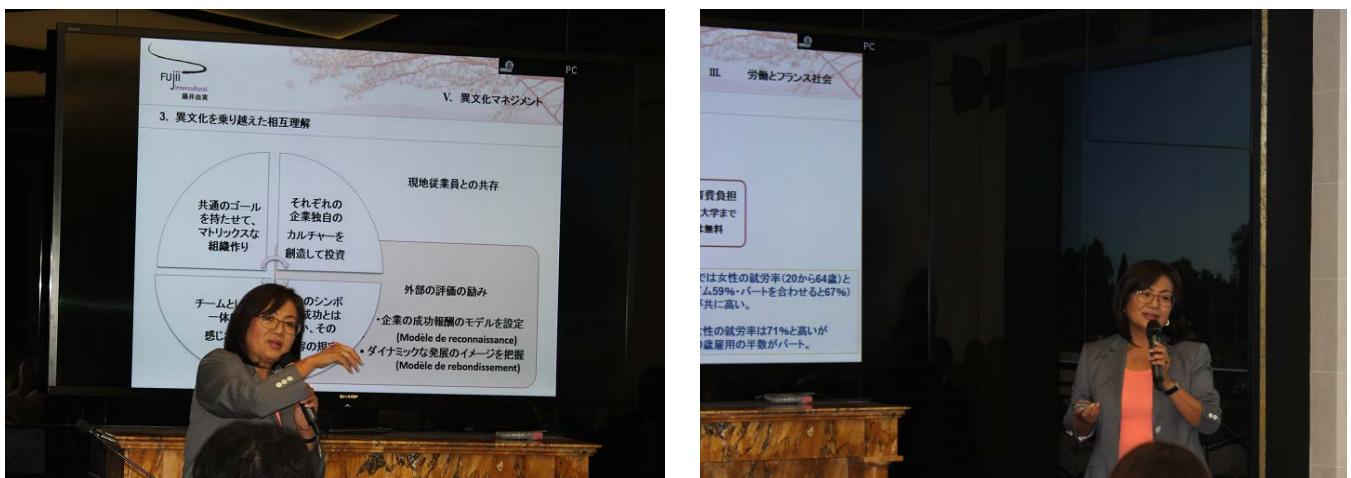
- 9月16日に、ビジネス異文化交流セミナーが開催され、日仏異文化マネジメント講師のヴァンソン藤井由実氏を講師としてお招きし、「フランス人と良く働くために」とのテーマでご講演を頂きました。
—— ヴァンソン藤井講師には、「ストラスブルのまちづくり（学芸出版社）」と「ほんとうのフランスが分かる本（原書房）」のご著書・ご翻訳書があります。
- ビジネス異文化交流セミナーでは、2011年度以降、日本人・フランス人それぞれを対象に相互理解に基づくコミュニケーションをテーマに取り上げて参りましたが、「フランス人と良く働くために」については、これまでの参加者の方々から大変好評を頂いておりましたため、今回で、日本人向けとしては3回目の開催の運びとなりました。
- 今回も36人とほぼ会場満席となる多くの参加者の下で、知的交流委員会の宮澤副委員長からの講師紹介に続いてプレゼンテーションが実施され、始終、講師の説明に熱心に耳を傾ける参加者の姿が印象的な、とても盛況な講演となりました。



- 今回の講演では、特に、フランス滞在歴が短めの方々が主たる対象として

意識されていましたが、フランス人従業員とのコミュニケーションにおいて、「なぜ私の言っていることがうまく伝わらないのだろうか」といった赴任後間もない時期に直面することが多い職場での疑問に対して、とても示唆に富む内容となりました。

- まず講演前半では、「異文化次元」、「フランス人と労働」、「フランス社会の特徴」について説明され、フランス人が日本人と異なる価値観を有することが改めて確認されました。そして、休憩を挟んだ後半では、こうした理解のうえで、「フランス人とのコミュニケーション」、「異文化マネジメント」を行う際のポイントが示され、講演後は、多くの参加者が普段の疑問を解消するヒントを得たように見受けられました。
- 今回、参加者ご協力の下で、事前に職場におけるフランス人従業員とのコミュニケーションに関する成功事例や失敗事例を講師と共有して頂きましたが、講演ではこうした具体的な事例が材料として盛り込まれたことで、参加者の肌感覚に訴えるかたちで、一段の理解深耕に繋がったようです。



- 講演自体は計3時間と長いものでしたが、身近な事例を用いた説明や「なるほど」とと思われる多面的な説明、並びに、講師の巧みな話術により、会場内の参加者が引き込まれるかたちで瞬く間に時間が過ぎていき、非常に密度の濃いものとなりました。講演終了後には、個別のケースについて相談しようと講師の周りに集まる参加者の姿が多く見られ、関心の高さと満足度の高さが窺われました。
- 大変興味深いプレゼンテーションを実施して頂いたヴァンソン藤井講師と、熱心にご参加頂いた会員の皆様のおかげで、大変有意義で実り多いセミナー

となりましたことを、感謝申し上げます。

以 上